

第9回議会報告会（平成29年11月）報告書

平成30年3月

那須塩原市 議会報告委員会

はじめに

本市議会における議会報告会は、議会基本条例に基づき初めて実施した平成24年8月を皮切りに、今回が第9回目の開催となった。

今回は常任委員会ごとの3班体制とし、各班において2会場を担当、計6会場において実施した。また、新たな試みとして、その3つの班それぞれにおいて、各常任委員会の所管する分野に関するテーマを1つずつ定め、平成30年度までの2年間を通して扱うものとして取り組んでいくこととした。会場での意見交換では、この3つのテーマを各会場共通のテーマとして設定し市民の声を伺った。

那須塩原市議会報告会実施要綱第11条の規定により、議会報告会報告書を本書のとおり提出する。

目次

1. 実施概要	2
2. 主な意見・要望等	4
I. 各班テーマにおける声	4
1. 数字からみる協働のまち	
2. 子どもの未来のために	
3. 空き家等の対策について	
II. 会場ごとのテーマにおける声	7
1. 「集え！！西那須人」について	
2. 「なんとかすっぺ！塩原温泉 ～女性の目線で考える塩原温泉～」について	
3. 「三島の課題おしえてっ！ ～空き家の動向を伺います～」について	
III. その他の声	7
1. 各会場でのその他意見・要望	
2. アンケート自由記入欄の意見・要望	
IV. 執行部及び議会に対する主な意見・要望(再掲を含む)	8
1. 執行部に対する意見・要望	
2. 議会に対する意見・要望	
3. まとめと考察	10
4. 資料	13
・平成29年11月議会報告会アンケート集計表〔グラフ〕	
・各班報告書	

1. 第9回議会報告会（平成29年11月）実施概要

（1班）

開催日時	平成29年11月14日（火）午後7時～午後9時			
開催場所	西那須野公民館			
参加人数	17人（男性14人、女性3人）			
担当議員	進行役	齊藤 誠之	班 長	小島 耕一
	司 会	吉成 伸一	報告者	森本 彰伸、君島 一郎
	記録者	田村 正宏、鈴木 伸彦、高久 好一、玉野 宏		
班 テーマ	数字からみる協働のまち			

開催日時	平成29年11月20日（月）午後7時～午後9時			
開催場所	厚崎公民館			
参加人数	8人（男性6人、女性2人）			
担当議員	進行役	齊藤 誠之	班 長	小島 耕一
	司 会	吉成 伸一	報告者	森本 彰伸、君島 一郎
	記録者	田村 正宏、鈴木 伸彦、高久 好一、玉野 宏		
班 テーマ	数字からみる協働のまち			

（2班）

開催日時	平成29年11月14日（火）午後2時～午後4時			
開催場所	狩野公民館			
参加人数	5人（男性1人、女性4人）			
担当議員	進行役	佐藤 一則	班 長	星 宏子
	司 会	星 宏子	報告者	相馬 剛、平山 武
	記録者	山形 紀弘、大野 恭男、金子 哲也、山本 はるひ、中村 芳隆		
班 テーマ	子どもの未来のために			

開催日時	平成29年11月14日（火）午後7時～午後9時			
開催場所	稲村公民館			
参加人数	15人（男性11人、女性4人）			
担当議員	進行役	佐藤 一則	班 長	星 宏子
	司 会	星 宏子	報告者	相馬 剛、平山 武
	記録者	山形 紀弘、大野 恭男、金子 哲也、山本 はるひ、中村 芳隆		
班 テーマ	子どもの未来のために			

（3班）

開催日時	平成29年11月13日（月）午後1時30分～午後3時30分			
開催場所	塩原公民館			
参加人数	11人（男性10人、女性1人）			
担当議員	進行役	松田 寛人	班 長	中里 康寛
	司 会	齋藤 寿一	報告者	中里 康寛、眞壁 俊郎
	記録者	星野 健二、櫻田 貴久、伊藤 豊美		
班 テーマ	空き家等の対策について			

開催日時	平成29年11月14日（火）午後6時～午後8時			
開催場所	三島公民館			
参加人数	6人（男性6人、女性0人）			
担当議員	進行役	松田 寛人	班 長	中里 康寛
	司 会	齋藤 寿一	報告者	眞壁 俊郎、相馬 義一
	記録者	星野 健二、櫻田 貴久、伊藤 豊美		
班 テーマ	空き家等の対策について			

2. 主な意見・要望等

I. 各班テーマにおける声

1. 数字からみる協働のまち

①自治会加入・自治会費に関すること

- ・若いお母さんたちに、自治会に参加することによる、子供たちの成長に対するメリットや必要性を感じてもらうことが重要である。
- ・アパートやマンションはオーナーから自治会加入を積極的に働きかけてほしい。
- ・消防後援会費と街灯分を支払うだけという負担でもよいのではないか。
- ・ゴミステーション管理、街灯（防犯灯）、消防費は自治会に加入していない人も負担してほしい。
- ・育成会には入るが自治会には入らない人が多い。
- ・若い人の自治会加入率が低い。
- ・自治会費が高額である

②自治会活動・自治会役員に関すること

- ・自治会の美化運動は地域の方との交流の場になっており重要である。
- ・ゴミ分別ボランティアが見守りにもなる。
- ・中学生以下の子供がいる世帯は同居家族全員で自治会行事等に参加したり携わることで自治会の効能を世代間で継承していくことが大事。
- ・育成会と自治会の連携・協力を深める必要がある。
- ・いきいき百歳体操を推進してほしい。
- ・防災は自治会や班単位で行うべき。
- ・行政からの要請が増えている。
- ・ベテラン世代の自治会役員と若い世代との融合がなされていない。
- ・若いお母さんたちとの付き合いが難しい。
- ・自治会長や役員の決め方で困っている。
- ・自治会長という職に魅力がないから成り手がいない。
- ・高齢化や戸数が少ないことで活動に支障が出ている。

③協働のまちづくりに関すること

- ・市と一緒に自然を体験するような事業がしたい。
- ・自助、共助、ご近所付き合いが防災には大切。
- ・お年寄りや障害者の情報と援助が災害時の課題。
- ・避難行動要支援者の情報把握は自治会役員だけでは困難。
- ・防災マップなどを作るだけでなく、広げる努力をするべき。
- ・防犯・防火活動を地域ぐるみで推進する必要がある。
- ・婦人防火クラブのような制度を世代をこえて継承するような仕組みづくりが重要。
- ・登下校の見守りの人的資源が不足しており拠点に立つのが精一杯。
- ・朝夕の通学時の見守りの定点以外の場所への配慮も必要。
- ・異世代交流を進めたいが、イベントに人数が集まらない。

④その他

- ・行政が市民に自治会というものを意識・理解してもらう活動が必要である。
- ・地域によって自治会の規模が大きく違うことに驚いた。
- ・市がある程度自治会の合併を指導してはどうか。
- ・コミュニティに入るまで避難場所もわからなかった。
- ・防災の意識が低い人が多い。
- ・消防団員が減少している。

2. 子どもの未来のために

①子どもの居場所づくりに関すること

- ・お祭りなどで3世代交流を進めたい。
- ・部活動をしていない子供たちの受け皿として、郷土芸能の伝承の場を提供することは、居場所づくりの点からも意義がある。
- ・子どもが外で安心して遊べる場所を作ってほしい。
- ・寒い時や雨などの時に子どもの室内の遊び場、居場所、子どもと一緒に遊べる空間が必要。
- ・独居高齢者の空き室を開放するのも有効な子供の居場所づくりになると思う。
- ・問題意識の高い高校生であれば、ボランティア活動の場を居場所にできる。
- ・スポーツクラブだけでなく文化部がもっとあれば選択肢が広がる。
- ・部活、スポーツ少年団に親が対応できないことで、加入できず居場所がない子がいる。
- ・親も子供達も部活や勉強だけでなく色々な人達と交流すべき。
- ・保育時間の拡充を（夜間保育・休日保育等）。
- ・待機児童の問題で、仕事が決まっても預けるところがなく、預けたい親が現実に困っている。
- ・子どもの貧困対策を（意欲のある子どもを大学まで支援。学校給食以外食事のとれていない子どもへの支援）。

②子どもの地域の見守り活動に関すること

- ・通学路の整備をしっかりと欲しい。
- ・交通指導員の方が下校時も対応できないか（課題としては下校時間がばらばらである）。
- ・犬の散歩を下校時間に合わせて通学路を見守る「わんわんパトロール」を取り入れては。
- ・地域の祭りに参加を。
- ・地区やコミュニティの行事に子供達が参加出来るような体制づくり。

③その他

- ・子どもと経験豊富な高齢者との交流を広めてほしい。
- ・より良い保育のため、光熱費や備品等の保育園の予算を拡充して欲しい。
- ・子育て世代の親について考えることが重要。
- ・高校生への通学手当の支給を。
- ・旧塩原小跡地（校庭）に子育て中のシングルマザー主体の市営住宅をつくっては。旧塩原小の隣がこども園なので安心して子育てができ旅館の人手不足解消に繋がるのではないかな。
- ・大企業誘致をさらに進める。

3. 空き家等の対策について

①空き家等の現状に関すること

- ・空き家が多いのなら使いたい。
- ・空き家か長期留守宅かわからない。
- ・相続人がいないことや、多数いることが問題になる。
- ・解体費用や税金面で、放置していた方が得なのは制度がおかしい。
- ・倒産物件の解体費用の問題は、民間では対応できない。

②空き家等の対策に関すること

- ・空き家を子供の居場所として活用できれば有効な世代間交流にもつながると思う。
- ・起業する方に安く提供しては。
- ・公共性のある場として利用しては。
- ・安全、安心のため空き家情報を市と自治会で共有して欲しい。
- ・状況を把握し白地図に空き家をチェックし現状把握を。
- ・空き家の税金を上げてはどうか。
- ・市で処分料の補助等をしては。
- ・PPP（パブリックプライベートパートナーシップ）を活用しては。
- ・空き家にしない方策を事前にPRすべき。
- ・空き家になる前に行政がサポートをしておくべき。
- ・安全安心なまちづくりのための倒壊家屋対策が必要。
- ・空き家は犯罪の場になり易い。火災が発生した空き家があるので安全対策を。
- ・少子対策、過疎を防ぐ対策が必要。

Ⅱ. 会場ごとのテーマにおける声

6 会場中、3 会場において会場ごとのテーマでの意見交換を行った。

1. 「集え！！西那須人」について

- ・車座談議を復活させて欲しい。
- ・自治会と民生員などの横の連携が重要。
- ・行政からの連絡手段にもっと電子手段を。

2. 「なんとかすっぺ！塩原温泉 ～女性の目線で考える塩原温泉～」について

- ・若い女性のモニターツアーを行っては（ユーチューバーの活用・Instagramの活用）。
- ・塩原の歴史・文人を活かす。
- ・自然遊歩道の増を。
- ・入湯税の値上げの検討をしては。
- ・若者向け施設の導入を。
- ・街なかに女性向けの施設が少ない。カフェや雑貨店も含めて数が少ない。
- ・がま石トンネルの下入口に「歩行者・自転車誘導看板」を設置してほしい。

3. 「三島の課題おしえてっ！ ～空き家の動向を伺います～」について

- ・アパートの住民同士のコミュニケーションがもっととれると良い。
- ・道路について、縦・横共に側溝が無く大雨が降ると交差点が歩けない。

Ⅲ. その他の声

1. 各会場でのその他意見・要望

- ・議員に市民の良き代弁者となってほしい。
- ・「聞きました」で終わることなく、本日ここで出た意見を実行してほしい。
- ・議会報告会の参加者が少ない事に驚いた。
- ・健康増進のため塩原にサイクリングロードを。
- ・スポーツイベントを導入して誘客を。
- ・黒磯公園とあたご駐車場のトイレを改修してほしい。
- ・自治会幹部であるベテラン世代との見解の相違をうまく解消するためには市の協力が必要。

2. アンケート自由記入欄の意見・要望

- ・後半の話し合いが楽しかった。もっとこの機会を若い世代に知らせてほしい。
- ・議員の皆さんは真剣に話を聴いて下さり嬉しく思った。
- ・議員の熱心な姿勢に安心した。
- ・議会報告会の参加者を増す努力を議員各位がすべき。
- ・年齢別に人を集めて意見交換をしたい。
- ・テーマが多すぎて時間的に忙しい。
- ・意見交換の時間が短かった。

- ・意見交換のテーマが漠然としている。もっと具体的な方が議論が深まるのでは。また、もっと少人数のグループにしてほしい。
- ・ワークショップはとても良いと思ったが、議会報告会・ワークショップ共に時間も出席者も足りないのでは。せつかくの機会なので、もっと出席を促すような事前の声掛けが必要では。
- ・子育てする母親（家庭）への支援は早急にお願いしたい。
- ・学童対策が十分ではない。
- ・細分化したサークル内での意見を聞いては。学校の保護者会などにぜひ来て意見を聞いてほしい。
- ・私も市内外の子どもたちのためにしっかりと保育に取り組んでいきたいと思う。少しでも現場の意見を伝えられて本当に良かった。
- ・本日の意見内容について、実行できたことの報告をした方が市民の参加につながるのでは。
- ・他市町では、防犯や防災への対応が公民館やコミュニティごとに立ち上げられているのに、那須塩原が進んでいないのが不思議。今後が不安なので、早々に進めるべき。

IV. 執行部及び議会に対する主な意見・要望（再掲を含む）

1. 執行部に対する意見・要望

○「数字からみる協働のまち」に関して

- ・行政からの要請が増えている。
- ・市と一緒に自然を体験するような事業がしたい。
- ・市がある程度自治会の合併を指導してはどうか。
- ・行政が市民に自治会というものを意識・理解してもらう活動が必要である。

○「子どもの未来のために」に関して

- ・子どもが外で安心して遊べる場所を作ってほしい。
- ・子どもの貧困対策を(意欲のある子どもを大学まで支援。学校給食以外食事のとれていない子どもへの支援)。
- ・市は小規模学童について考えてほしい。
- ・寒い時や雨などの時に子どもの室内の遊び場、居場所、子どもと一緒に遊べる空間が必要。
- ・保育時間の拡充を（夜間保育・休日保育等）。
- ・通学路の整備をしっかりと欲しい。
- ・交通指導員の方が帰りも対応できないか(課題としては下校時間がばらばらである)。
- ・より良い保育のため、光熱費や備品等の保育園の予算を拡充して欲しい。
- ・高校生への通学手当の支給を。
- ・旧塩原小跡地（校庭）に子育て中のシングルマザー主体の市営住宅をつくっては。そのことから旧塩原小の隣がこども園なので安心して子育てができ旅館の人手不足解消に繋がるのではないか。
- ・大企業誘致をさらに進める。

○「空き家等の対策について」に関して

- ・解体費用や税金面で放置していた方が得なのは制度がおかしい。
- ・空き家の税金を上げてはどうか。
- ・空き家バンクの登録手続きが面倒。
- ・安全、安心のため空き家情報を市と自治会で共有して欲しい。
- ・若手企業家のために助成を格段に増やしてみたらいいのではないか。
- ・空き家が老朽化しているのでランク付けして取り壊す等の対応を願う。
- ・少子対策、過疎を防ぐ対策が必要。
- ・PPP（パブリックプライベートパートナーシップ）を活用しては。
- ・起業する方に安く提供しては。
- ・公共性のある場として利用しては。
- ・市で処分料の補助等をしては。
- ・安全安心なまちづくりのための倒壊家屋対策が必要。
- ・空き家になる前に行政がサポートをしておくべき。
- ・空き家にしない方策を事前にPRすべき。

○その他

- ・車座談議を復活させて欲しい。
- ・行政からの連絡手段にもっと電子手段を。
- ・若い女性のモニターツアーを行っては（ユーチューバーの活用・インスタグラムの活用）。
- ・入湯税の値上げの検討をしては。
- ・がま石トンネルの下入口に「歩行者・自転車誘導看板」を設置してほしい。
- ・黒磯公園とあたご駐車場のトイレを改修してほしい。
- ・自治会幹部であるベテラン世代との見解の相違をうまく解消するためには市の協力が必要。

2. 議会に対する意見・要望

- ・議員の熱心な姿勢に安心した。
- ・「聞きました」で終わることなく、本日ここで出た意見を実行してほしい。
- ・議員に市民の良き代弁者となってほしい。
- ・議会報告会の参加者が少ない事に驚いた。
- ・議会報告会の参加者を増す努力を議員各位がすべき。
- ・本日の意見内容について、実行できたことの報告をした方が市民の参加につながるのでは。

3. 第9回議会報告会のまとめと考察

今回の報告会についての評価できる点、改善すべき点などを振り返り、アンケート結果等も参考にしながら、次回の議会報告会に繋がる様、考察する。

1. 実施体制について

今回の議会報告会については、常任委員会ごとの3班体制で実施した。

- ・総務企画常任委員会（第1班）
- ・福祉教育常任委員会（第2班）
- ・建設経済常任委員会（第3班）

2. 広報活動について

- ・ポスター掲示依頼（各施設）、チラシの全戸配布、市広報誌及び議会広報紙への周知記事の掲載
- ・各種イベント等でのチラシ配布
配布を予定していたイベントのうち巻狩りまつりについてはイベントが中止となったため配布できなかったが、那須塩原市まなび博覧会で2日間にわたり配布を行った。
- ・各議員による個別の声掛け

3. 当日の進行について

1) 会場設定及び参加者数

今回も、市内15か所の公立公民館の中から、直近で開催している9館を除いた6館で実施した。

- ・西那須野地区3会場（西那須野公民館、狩野公民館、三島公民館）、
- ・黒磯地区2会場（厚崎公民館、稲村公民館）
- ・塩原地区1会場（塩原公民館）

それぞれの会場の空き状況をみて、各班で日時を設定したため、同日に同地区での開催が重なった日もあった。結果としては、参加は61名となり、今までと比べても少ない傾向であった。会場及び日時の設定について課題が残った。

2) 当日の進行について

これまでの議会報告会と同様に、議会報告と意見交換会の2部制で行った。意見交換の方式については各班において協議し、決定した。いずれの班においてもワークショップ型の話し合いとし、会場設営については、第1部からアイランド型（島型）で行う班、最初はスクール形式で議会報告を行い、2部の意見交換についてはアイランド型（島型）とする班もあった。

意見交換会では、司会が全体的に進行をし、

- ・各テーブルに議員が混ざり意見を交換した班
 - ・各議員がコーディネーターを担当しテーブルごとに進行した班
 - ・意見が全体に出た後に、意見を発表し合った班
- のように、各班で工夫をして行った。

3) 意見交換テーマについて

意見交換テーマについては、新たな試みとして、班を構成する各常任委員会の所管に関するテーマをそれぞれ設定した。

テーマについては

- ・1班 「数字から見る協働のまち」
- ・2班 「子どもの未来のために」
- ・3班 「空き家等の対策について」

とした。

尚、このテーマは平成30年度も引き続き取り扱う2年間を通してのテーマとした。

また、会場ごとにもキャッチフレーズを掲げ、意見交換を行った。

4) 時間の配分について

議会報告会全体で2時間のうち

- ・議会報告会 30分
- ・意見交換会 1時間30分

とした。

意見交換会1時間30分のうち

- ・自班テーマ 30分
- ・他の班のテーマ 15分ずつ×2班分
- ・その他及び会場キャッチフレーズに関して 30分

とした。

5) アンケート結果について（巻末「4. 資料」のアンケート集計表〔グラフ〕参照）

- ・62名の参加者のうち、56名から回答を得た（回収率90.3%）。
- ・回答を得た参加者の全員が“市内に居住している”との回答であった。
- ・年齢構成は、50代から70代の市民が78%を占めた。
- ・報告会を何で知ったかについての回答は、チラシやポスター・市広報・議会だよりが約55%、議員や知人が直接声掛けを行ったことでの参加が約40%の割合となった。
- ・報告会の内容については、「わかりやすかった」との回答が41%であった。
- ・報告会の評価については、75%の参加者の方が今回の報告会を「評価する」と回答した。
- ・市議会を傍聴したことがあるかについて「ある」と回答した方は41%であった。
- ・議会だよりのわかりやすさに関しては、84%の方が「わかりやすい」または「まあまあわかりやすい」と回答した。

4. 市民の皆様からいただいた意見・要望について

今回の議会報告会及び意見交換会でも本報告書のとおり沢山の意見をいただいた。

- ・今回から、市民からいただいた執行部に対する要望や意見の中から、議会として特に執行部に伝える必要があると考えるものについて、報告書とは別途まとめ、報告書と併せて執行部へ議長より提出して頂き、その後各班において調査研究をすることとした。
- ・議会に対する意見については、議会だより（2月20日号）に掲載をしている。

5. 今後の議会報告会について

今回の議会報告会について、まず第1部の議会報告においては、言葉による説明が多かったせいか、アンケートの意見から、市民の方には分かりにくい部分があったようである。

今回は改選があったため平成29年度初めての開催であり、3定例会分+臨時議会分（通常は2定例会分）と報告する案件が多かったことも原因の一つであると考えられる。

第2部の意見交換会については、各班が設定したテーマに関して、6会場すべてで話し合っていた。このようにした理由としては、会場により参加人数にばらつきがあるのでできるだけ多くの参加者と各テーマについて意見交換をするためと、どの会場に参加しても各班の取り組みを紹介できるということであった。

しかし、扱うテーマ数が多かったため、各テーマについて時間があまり取れなかったとの意見が参加者や委員からあったので、次回への反省としたい。

開催場所や時間の設定などにも課題は残ったが、それでも参加者からは、設定したテーマについて沢山の貴重な意見をいただいた。

今後委員会にてさらに協議をし、より多くの市民の方との意見交換の場を持てる取り組みを心がけたい。

また、この報告会を議会活動にしっかりと生かしていくことで、市民の期待や関心が増してくるのではないかと考える。

「議会報告会並びに意見交換会」という名称も堅いと言われているので、この点についても今後協議をしていきたい。

また、今回の意見・要望について、状況等の報告をした方が市民の参加につながるのではとの参加者からの意見のとおり、いただいた意見等の調査研究やその結果について、報告できるものについてはしっかりと報告をしていく取り組みも必要だと考える。

これまで行ってきた報告会の手法に関しても、必要に応じて委員会で改めて協議をし、どうしたら市民の関心度がより上がるかも引き続き検討していくこととする。

議会報告会は、市民の代弁者として我々議員が一堂に会して市民の皆様の意見を伺う貴重な場であり、市民の方の参加を増やすことは、より多くの方に関心を持っていただく機会でもある。

今回の結果から、次回の議会報告会に生かせるものは継続的に、また変えていくべきものについては前向きに見直しをし、市民に議会を身近に思っただけのように、新たな取り組みも視野に入れて委員会で話し合い、次回の議会報告会へと繋げていきたい。

4. 資料

- ・平成29年11月議会報告会アンケート集計表〔グラフ〕
- ・各班報告書